

育成を目指す資質・能力と教科との関連一覧

※平成30～令和元年度教育情報化プロジェクトチームで検討・作成

観点		コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができることを体験させながら		
		低学年	中学年	高学年
知識及び技能	身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付く。	・コンピュータの存在がわかる。 ・基本的な問題解決の手順がわかる。	・身近な生活の中でコンピュータが活用されているのがわかる。 ・問題解決の手順が工夫できることがわかる。	・社会でコンピュータやプログラムが活用されていることや、その良さがわかる。 ・問題解決の手順を論理的に組み立てる良さがわかる。
思考力、判断力、表現力等	発達の段階に即して、「プログラミング的思考」を育成する。	・伝えたいことを、始め、中、終わりの構成を考えてまとめる。 ・事柄や意図する一連の活動の順序に沿って構成や組み合わせを考える。	・自らの情報の活用を振り返り、手順の組み合わせをどのように改善していけば良いのかを考える。	・情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する。
学びに向かう力、人間性	発達段階に即して、コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を育てる。	・友達と協力して問題解決しようとする。 ・身の回りの情報や情報技術を適切に使おうとする。	・情報の活用を振り返り、改善点を見出そうとする。 ・目的に応じて情報活用の見通しを立てようとする。	・情報及び情報技術を工夫し創造しようとする。 ・情報及び情報技術の活用を振り返り、改善点を見出そうとする。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語					○「弱いロボット」だからできること	◎町の未来をえがこう(総合と関連)
社会					◎情報社会に生きるわたしたち(総合と関連)	
算数	○もののいち	○たし算とひき算のひっ算	○かけ算の筆算	○わり算の筆算	☆正多角形の作図(A) ◎倍数の見つけ方(B)	☆条件にあつ整数のみつけ方(B) ◎円の面積(B) ◎図形の拡大と縮小(B)
理科			○おもちゃランド ○これまでの学習をつなげよう	○電気のはたらき	○植物の発芽と成長 ○メダカのたんじょう ○ヒトのたんじょう ○ふりこのきまり ○電流と電磁石	☆発電と電気の利用(A) ○水溶液の性質
生活		○作ってためして				
音楽	○せんりつをつなげてあそびましょう	○せんりつあそび	○3つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう(B)	◎5つの音で、せんりつをつくりましょう～作曲ソフトを用いて(B)	○日本の音階を使って旋律をつくりましょう(B)	◎和音に含まれる音を使って旋律をつくりましょう～作曲ソフトを用いて(B)
図画工作	○によきによきとびだせ	○パタパタストロー	○ゴムゴムパワー	○ゴーゴードリームカー	◎形が動く絵が動く(C) ○ほり進めて刷り重ねて	○くるくるクランク ○ドリーム・プロジェクト
家庭						○朝食から健康な一日の生活を
体育						
道徳						
外国語活動・外国語					◎プログラミングで道案内	
総合的な学習の時間			◎ビスケットを用いたプログラミング体験②(C)	◎スクラッチを用いてプログラミングの基礎を学ぶ(C)	◎「情報」「まちの魅力」を採求課題に設定した学習(例:5年社会「情報社会に生きるわたしたち」、6年国語「町の未来をえがこう」と関連)(A) ◎課題を探求して分かったことなどをプレゼン(B)	
特別活動	○「ルビィのぼうけん」等を用いたアンブラグドの学習	◎ビスケットを用いたプログラミング体験①(C)		◎クラブ活動:ビスケット・スクラッチ・作曲ソフト等を使った作品づくり(D)		

使用するツール	・ルビィのぼうけん(本) ・ビスケット(PC)	・ビスケット(PC) ・作曲ソフト(PC)	・スクラッチ(PC)	・スクラッチ(PC) ・作曲ソフト(PC)
---------	----------------------------	--------------------------	------------	--------------------------

・ゴシック体の単元は、必ず実施するもの。明朝体の単元は、学校・学級の実情に応じて実施するもの。
 ・学習活動の分類については「小学校プログラミング教育の手引き」に基づき、以下のように整理する。(A:学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの B:学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの C:教育課程内で各教科等とは別に実施するもの D:クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの)
 ・項目文頭の「☆」は「教科書に記載がありPC等活用可」、「◎」は「記載はないがPC等活用可」、「○」は「記載・PC等活用ともないが、基礎とな